
ある夏の出来事

左京マサル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある夏の出来事

【Nコード】

N3159E

【作者名】

左京マサル

【あらすじ】

ある出会いが人生をかえることになるとは思いませんでした。そんな1話完結のショートストーリー！。

人として何を思うか。それは自由である。

私はこれまで生きてきて色々な出来事に遭遇した。

それは幸福であり苦難でもあった。

人の優しさを知り、人の残酷さを知った。

その一部分が自分の人格すら変えてしまうことだってある。

そんな些細な話を書いてみたいと思う。

あの日は暑い夏の日だった。

はじまりは、1台のパソコン。

いつものように仕事の合間をぬって気の合うチャット仲間たちと

くだらない日常のこと趣味のことなどを話していた。

そしてふいに飛び込んできた1人の名前。

懐かしい、そして憧れの人の名前。

我が目を疑い、そして恐る恐る彼女に話し掛けた。

「蒼井さん・・・もしかして・・・？」

しばしの沈黙の後、彼女はただ一言だけ

「うん」

私のテンションは高まり、緊張して何を話したか覚えてはいない。
ただどれだけ彼女に憧れていたか切々と語っていたのだけは確かだ

あろう。

周囲が私のテンションの高さにただただ、呆れるだけだったのだから……

彼女と私が親しくなるにはそう時間はかからなかった。

そして彼女の現在の苦しい日常を聞いているうちに

不思議な感情が自分の中に湧きあがっていた。

そして何とかして彼女を助けたい、いや助けなければならないという強い衝動に駆られ、突き動かされていくのである。

それはあの熱い日差しの中で幻想にも似た感情が
そうさせたのかもしれない。

自分の日常すら崩壊させるほどの大事件になるのは
また次の機会にでも話そうと思う。

暑い暑い日差しの中で蜃気楼のように儚く淡く
そして焼け付く痛みが今でもこの腕に焼き付いている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3159e/>

ある夏の出来事

2011年1月26日07時18分発行